



えがお



梓川地区：梓川堰堤の桜

- 在宅血液透析の開始について
- 医療ミニ知識 ピロリ菌について

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本



笑顔あふれる優しい病院

松本市立病院の理念

地域の皆様から信頼され、全職員が患者さんとともに歩み、
患者さん中心の「満足と安心」・「権利と安全」に
配慮した医療を実践します。

泌尿器科 石川雅邦Dr.

この度4月から泌尿器科に赴任することになりました石川雅邦と申します。前勤務病院は信州大学医学部附属病院でした。主にレーザーによる尿管結石治療、前立腺肥大治療と排尿障害の診断治療を中心に、一般的泌尿器科領域の治療を行ってまいりました。松本市立病院では、地域のニーズに沿った治療を第一に考え、一人一人の患者さんにより近い距離で、治療を行ってゆきたいと考えています。また疾患によっては信州大学附属病院泌尿器科とも連携を取りながら専門治療とその後のフォローを有効に組み合わせられるようなマネージメントすることも必要だと考えています。何卒よろしく申し上げます。



小児科 加藤重人Dr.

小児救急という特殊な前職から、まっとうな病院勤務医に戻り、約8年間お世話になりました。皆さまには心から感謝申し上げます。このたび医局人事で、丸の内病院で新生児医療に携わることになりました。しかしながら僕の中のリトル加藤が「赤ちゃん以外もみた方がいいんじゃない?」と言うので、4月以降も月に2回ほど外来に來させていただきます。時々ではありますが引き続きお世話になります。これからもよろしく申し上げます。



退任Dr. あいさつ



内科 中村真一郎Dr.

消化器内視鏡を中心に約3年間お世話になりました。上部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)、下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)およびそれに付随する処置の時に会いました方が多いかと思ひます。いろいろな病氣をお持ちの方の検査や処置をさせて頂き、様々な経験をさせて頂きました。皆様の力になれていたのであれば幸いです。この病院での経験を糧に今後も精進していきたいと思います。いろいろとありがとうございました。



研修医 奥村太規Dr.

初期研修医1年目の奥村です。たすきがけプログラムのため来年度は信州大学医学部附属病院での研修となります。医師としての最初の1年ということで、不安なことも多々あり、ご迷惑おかけすることもありましたが、医師としての1歩目を踏み出すことができました。松本市立病院で築いた医療人としての基礎を忘れずよりいっそう励んで参りたいと思ひます。また機会がありましたら遊んでください。



研修医 小田切祐一Dr.

あっという間に退任の時期になってしまいました。日々の外来・病棟業務や当直など、この病院での研修は本当に身になることばかりでした。何かと至らぬ点ばかりで、先生方や看護師さんを始め多くの方々に数え切れないほど助けていただき、本当に感謝しております。来年度からは信州大学の小児科に入局しますが、ここでの経験を糧に大人も診られる小児科医になり、またいつか戻ってきたいです。1年間ありがとうございました。



研修医 倉科淳一Dr.

1年という期間は、本当にあっという間でした。わからないことばかりで病棟でうろたえていることが多かったと思ひます。しかしながら多忙の中でも優しく声をかけてくださる方が多く、とても働きやすい病院でした。来年からは信大の神経・膠原病内科に入局します。初心を忘れず、謙虚に地道に努力を重ねて行きたいと思ひます。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



研修医 黒沢吉永Dr.

自分ひとりで点滴すらまともに入れたこともないまま始まった当院の研修でした。医局の先生方から受けた指導、病棟・外来看護師の皆さんの叱咤激励、薬剤科やリハビリ科、検査科の皆さんからの温かい見守りのもと、忘れられない・忘れてはいけない経験をたくさんつませていただきました。栄養科の皆さんには個人的にも大変お世話になりました。1年間ありがとうございました。またいつか松本市立病院に戻れたらいいなと思ひます。



退官を迎えて ～笑顔あふれるやさしい病院～

前看護部長 上條福子



気持ちは若いつもりでいましたが、いよいよ定年を迎える年になりました。育児のために暫らく寄り道し、平成3年1月ご縁を頂き（当時の波田総合病院で）臨床での再出発を踏み出すことができました。平成4年に病棟師長として部署管理に就き、右も左も分からないあの日から今日まで、看護副部長、看護部長として、「楽しさを愉しみ、苦しさも味わい・愉しむ！」を座右の銘にしてきました。あつという間の26年間、月日の過ぎるのは早く走馬灯のように駆け巡ります。

この間、良き先輩に出会い、教え・導かれ、そして良き同僚・後輩の皆さんの力をお借りして、無事定年を迎えることができます。振り返りますと失敗や反省・後悔の繰り返しですが、人と人との繋がりの中で支えられ、活かされていることを感じてきました。ありがとうございました。

看護部長としては、諸先輩の築き上げてきた看護を礎に、病院の事業・運営の中で、病院機能の変化に応じられるよう整え、次世代にバトンを繋げることに努めた2年間でした。さらに、地域包括ケアシステムが謳われる中で、看護職として「病院の中から地域の中へ」を心得として、多くの出前講座・救護活動など住民の皆さんのニーズに応えられるよう働きかけてきました。

今まさに、松本市立病院は西部地域の基幹病院として、この地域になくてはならない病院としての使命を持った医療を展開するために、移転・新築に向かい職員一丸となって本事業に取り組んでいるところです。

住み慣れた地域の中で、お互いに支えあい協力しあいながら、最期の時まで住み続けられる…「住むだけで元気になる街」を描き、病院の移転・新築がその原動力となれば…と期待し心より願っています。

新病院の構想を描き、大きく変わる時！その時こそ“笑顔あふれるやさしい病院”を合言葉に、職員が元気で笑顔あふれるチームでいられることを願い、応援しています。

新年度、看護部は新体制となります。小粒でもどっしりとした頼もしいリーダーのもと、あらたな目標に向かい、さらに飛躍の年となることを確信し、期待しています。どうか、今後も温かく・厳しく、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

看護部長就任のごあいさつ

看護部長 山名寿子



このたび、上條看護部長の後任として、看護部長を拝命いたしました山名寿子と申します。

松本市立病院は地域の皆様にご利用いただける病院をめざし、急性期のみではなく、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟という様々な機能を有する病院へと変化いたしました。時代やニーズにより病院の機能が変化するなかで、看護職は皆様の期待に応えられますよう日々研鑽を積み重ねております。病院という施設の中だけではなく、訪問看護、出前講座、地域のイベントでの救護活動など、より住民の皆様の生活に近い場で活動する機会も増えてまいりました。様々な場で、患者さん、ご家族、住民の方々と出会う看護職がプロフェッショナルとしての役割を發揮できますよう、環境を整えてまいります。開かれた病院として、皆様から信頼される病院をこれからも目指して参りますので、今まで同様のご指導ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。

在宅血液透析の開始について(中信地区初!)

在宅血液透析治療とは

- ・患者さんの自宅に透析の装置を設置し、自宅で自分自身の血液透析を行なう治療方法。
- ・通常、医療者が行なう治療行為を、全て患者さんが実施するため、対象者を限定。
(当院で教育と実技トレーニングを受け、週に5～6回、8時30分から23時までに血液透析を行える方)
- ・トラブル時は当番の臨床工学技士が対応。
- ・全国(患者数32万人)での対象人数は75施設(公的病院6)の567人で、県内では3施設の11人。



中信地区でも初めての試みですので、ぜひ軌道に乗せ、次に希望される方へも勧められるよう取り組んでいます。この治療により、自分の生活スタイルに合わせて治療を行えるだけでなく、透析中に家族団らんや仕事など自分の時間を増やすことができ、通院の時間が大幅に減ります。また、病院では週2回から3回の透析が、在宅透析では毎日透析を行う事ができ、十分な透析を行えるため、飲水・食事制限がほぼ無く、健康維持が改善され、透析患者さんに多く見られる合併症のリスクが減るということは間違い無いでしょう。

医療技術部長 兼 臨床工学科技士長 藤牧久芳

平成28年度 患者満足度調査

サービス向上委員会では、10月3日～10月7日の5日間外来・透析に通院された患者さん対象に、10月3日～10月21日の19日間入院患者さんもしくは入院患者さんのご家族対象に満足度調査を実施いたしました。ご回答いただきましたアンケートは、外来・透析で436枚、入院で100枚でした。

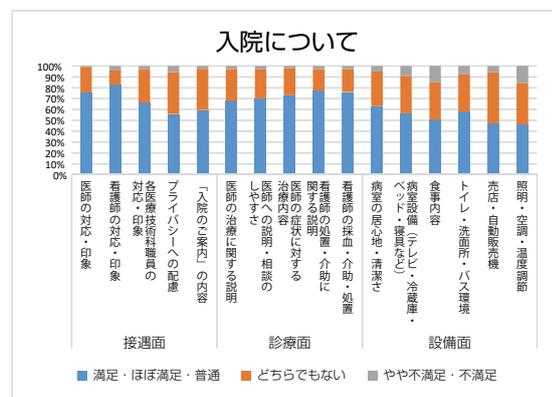
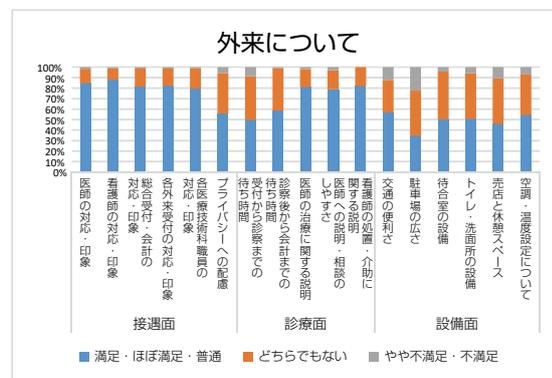
ご協力ありがとうございました。

アンケート項目

外来について	
接遇面	医師の対応・印象
	看護師の対応・印象
	総合受付・会計の対応・印象
	各外来受付の対応・印象
	各医療技術科職員の対応・印象
	プライバシーへの配慮
診療面	受付から診察までの待ち時間
	診察後から会計までの待ち時間
	医師の治療に関する説明
	医師への説明・相談のしやすさ
設備面	看護師の処置・介助に関する説明
	交通の利便性
	駐車場の広さ
	待合室の設備
	トイレ・洗面所の設備
売店と休憩スペース	
空調・温度設定について	

入院について	
接遇面	医師の対応・印象
	看護師の対応・印象
	各医療技術科職員の対応・印象
	プライバシーへの配慮
診療面	「入院のご案内」の内容
	医師の治療に関する説明
	医師への説明・相談のしやすさ
	医師の症状に対する治療内容
	看護師の処置・介助に関する説明
設備面	看護師の採血・介助・処置
	病室の居心地・清潔さ
	病室設備(テレビ・冷蔵庫・ベッド・寝具など)
	食事内容
	トイレ・洗面所・バス環境
	売店・自動販売機
	照明・空調・温度調節

結果



アンケートは該当する評価を選んでいただく欄と、自由に意見を書いていただく欄を設けさせていただきました。

前者は左記グラフと表です。後者では、温かいご意見と厳しいご指摘といただきました。今後の励みにと、また改善に活かして行きたいと考えています。

ハード面に関しては直ぐに改善できない部分もありますが、少しでも使用し易いように工夫して行きます。

接遇面に関しては、ロールプレイング・研修・日々の声かけで、より良い関わりが出来る様に取り組みます。

診療面に関しても、患者さんに寄り添い、少しでも満足していただくことができる関わりを実践して行きます。

サービス向上委員会 委員長 寺澤明美

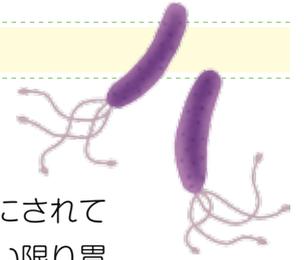
医療三二知識

ピロリ菌について

胃粘膜に感染するヘリコバクター (*Helicobacter*) はピロリ菌だけではありません。

ピロリ菌とは

Helicobacter pylori (helico-; らせん状の bacter; 細菌、pylorus; 幽門) (ピロリ菌) は、胃の粘膜に生息しているらせん形をした細菌です。このピロリ菌が胃炎、胃潰瘍や胃がんといった胃の病気に深く関わっていることが明らかにされてきました。ピロリ菌は子供の頃に感染し、一度感染すると多くの場合、除菌しない限り胃の中に棲みつづけます。ピロリ菌が胃の粘膜に感染すると炎症が起こり、炎症は最終的には胃粘膜全体に広がり慢性胃炎となります。慢性胃炎に加え、ピロリ菌はさらに胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃粘膜萎縮を引き起こし、その一部が胃がんに行進していくと考えられています。

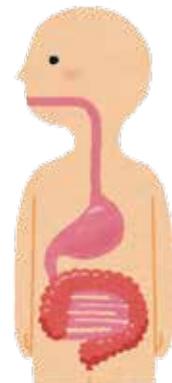


ピロリ菌以外のヘリコバクターとは

ピロリ菌より大型の細菌が胃粘膜に感染していることが、ピロリ菌の発見の前後に報告されていました。この菌は、近年、人畜共通感染症（ヒトとそれ以外の脊椎動物の両方に感染または寄生する病原体により生じる感染症の総称）あるいはペット由来感染症（ペットからヒトに感染する感染症）の観点から注目されています。ピロリ菌以外の*Helicobacter*属菌は、*Non-H. pylori helicobacters* (NHPH) と呼ばれています。NHPHに属する細菌の特徴として、ピロリ菌は霊長類にしか通常は感染しないのに対し、NHPHはイヌ、ネコ、ブタなどが本来の宿主である点があげられます（表1）。ヒト胃粘膜に感染がみられるNHPHは、その多くが*H.suis* (*suis*とはブタを意味します) と呼ばれる細菌です。*H.suis*はブタに高頻度に感染がみられます。*H.suis*感染とヒト胃粘膜に発生するリンパ腫とよばれる悪性腫瘍との関連が指摘されています。本来、ブタ胃粘膜に感染している*H.suis*がどのような経路をへてヒトに感染するのかは不明です。一方、イヌやネコには、*H.suis*とは別のNHPHが高頻度に感染していますが、これらの菌のヒトにおける感染頻度は低いとされています。しかしながら、NHPH感染患者の約70%に、家畜やペット（ブタ、イヌ、ネコなどが主体）などの動物との接触歴があったという報告があり、イヌやネコからの感染を強く疑う報告もあります。直接の証明はなされていませんが、ペットとの濃密な接触にはペット由来感染症としてのNHPH感染の危険があると考えられます。

表1 ヒトの胃疾患と関連するNHPH

細菌の種	自然宿主
<i>H. suis</i>	ブタ, サル, マンドリン
<i>H. felis</i>	ネコ, チーター, イヌ, ウサギ
<i>H. bizzozeronii</i>	イヌ, ネコ
<i>H. salomonis</i>	イヌ, ネコ, ウサギ
<i>H. heilmannii</i>	ネコ, チーター, ボブキャット



部署 紹介

臨床工学科 (Medical・Engineer)

1991年透析治療の開始と共に臨床工学技士が当院に誕生し、その後、透析室は患者数の増加に伴い増床され37床の腎透析センターとなり、また医療機器を中央管理するMEセンターも1999年に開設されました。この様に業務拡大する中、臨床工学科が設置され現在は男性7名の技士が血液浄化業務とMEセンター業務に携わっています。

血液浄化における主な業務は慢性腎不全患者に対する血液透析です。治療方法としては以前の血液透析療法 (HD) が主流であったのに対し、現在は血液濾過透析療法 (HDF) に代わり、約80%の患者さんが実施されています。また在宅血液透析も昨年からは開始され、患者さんのQOLが改善され、非常に満足して頂いています。



その他の浄化では薬物、エンドトキシン、LDLコレステロール、 $\beta 2$ -MG、潰瘍性大腸炎における白血球、好中球などの吸着療法の他、腹水濾過濃縮再静注法、血漿交換療法など幅広く血液浄化療法のほか重症患者・敗血症患者への持続緩徐式血液濾過透析などの救命治療は当直体制にて細やかな対応をしています。

治療以外の業務としては透析液水質管理があります。メイン治療である血液濾過透析では液の無菌・エンドトキシンフリーが求められており、定期的な検査、バリデーションの構築から無菌の担保の維持には神経を使っています。また透析装置及び関連装置のオーバーホール、保守点検修理業務も定期的の実施しており機器の故障時にも瞬時に対応しています。

MEセンターにおける業務では医療機器管理業務、医療ガス業務、ペースメーカー業務などがあります。共用医療機器は購入から廃棄までが一元管理され、使用中の点検、使用後点検のほか修理も院内で行うことにより安全で経済性に優れた医療機器となり、過不足なく提供可能となります。これらは目立たない地味な業務ではありますが、医療安全、経営管理にも繋がっていると考えています。

以上、日常業務について簡単に紹介させて頂きました。スタッフ一同7人の侍としてフットワークを活かし、自分達の臨床工学技術・知識を可能な限り提供し、チーム医療に貢献したいと頑張っています。

医療技術部長 兼 臨床工学科技士長 藤牧久芳

奈良井医院

連携医紹介

松本市立病院さまにはいつも大変お世話になっております。私は平成4年に大学を卒業し、慶應義塾大学の外科学教室に入局しました。大学病院とその関連病院で8年間、一般消化器外科でお世話になりました。所属は腸班でした。当院は、今の場所に松澤先生、中山先生の後、昭和40年に私の父が開業しました。父は昭和62年に脳出血を発症し左片麻痺があり、だんだん動けなくなってきたため、平成12年に私が戻ってきました。



地元の患者さんを診療しています。患者さんは高齢者が多く、高齢化で遠くの病院に通院することが大変になり、当院に通うことになった人もいます。専門は消化器外科ですが、今はかかりつけ医として、総合的な診療を目指しています。それでも消化管の内視鏡検査は頑張っ続けていきたいと考えています。

松本市立病院は洗馬から車で30分以内で行けるので、当院で手に負えない患者さんをお願いすることが多いのですが、いつも親切に対応していただき大変ありがたく感謝しています。

スタッフは私の他、看護師が3名、事務職が3名働いてくれています。院内処方を行っており、最近では長期投与で一包化処方の希望が多いので大変です。薬局は一包化加算が算定できるのに院内処方では算定できず、国のやり方に矛盾を感じています。



- 診療科目 外科・内科
- 診療時間 8:30~12:00
14:00~17:30
- 休診日 土曜日(午後)、日曜日、祝日
- 住所 〒390-0815
塩尻市洗馬2588-6
- 電話 0263-52-0695

これからも当院や私を信じて来てくれている患者さんの期待を裏切らないように頑張りたいと思います。

院長 奈良井 慎

整形外科 脊髄手術の紹介

平成29年1月より、新たに整形外科の清水政幸先生をお迎えしました。脊椎疾患専門の医師ということもあり、1月から3月上旬までに椎弓切除2件・内視鏡下椎間板ヘルニア切除術(MED)4件行なわれました。椎弓切除・ヘルニア切除は今までも時々行なわれていましたが、内視鏡下手術となることで、一椎間であれば2cm程度の傷で手術が行なわれます。傷が小さいので創痛の範囲が少なく済み、離床も進み社会復帰も早まります。手術を受けた患者さんからも「痛みが無くなり楽になりました」など喜びの声が聞かれます。気になる症状がありましたら、気軽にご相談ください。



中央手術室 看護師長 寺澤 明美

松本市立病院 診療医師一覧表

平成29年 4月 1日

診療科	受付時間		診察開始時間	月	火	水	木	金	
総合診療科(初診)	午前	8:15~11:30	9:00	小澤 正敬 林 元則 黒河内 顕 清澤 美智 堀内一太郎 (福澤 慎哉)	小澤 正敬 三澤 俊一 澤木 章二 清澤 美智 柴崎美緒(信)第1・3 秋田真代(信)第2・4	桐井 靖 南澤 朋美 林 元則 塚田 恵(信) 後藤 貴宗	小澤 正敬 清水 幹夫 信大医師 清澤 美智 濱野 雄二郎(信)	桐井 靖 小澤 正敬 上條 泰(信) 平野 真理 大和 理務 清澤 美智	
	午後			小澤 正敬 桐井 靖 大和 理務 清澤 美智	依田 恭介 林 元則 黒河内 顕 柴崎美緒(信)第1・3 秋田真代(信)第2・4	三澤 俊一 大和 理務 塚田 恵(信) 清澤 美智	小澤 正敬 清水 幹夫 大和 理務 濱野 雄二郎(信) 清澤 美智	林 元則 依田 恭介(第1) 三澤 俊一(第2) 黒河内 顕(第3) 桐井 靖(第4) 上條 泰(信)	
消化器担当	午前	8:15~11:30	9:00	黒河内 顕	三澤 俊一	桐井 靖	大和 理務	平野 真理	
内科専門外来	午前	8:15~11:30	9:00	消化器科	米田 傑	平野 真理	福澤 慎哉 大和 理務 (10:00~)	米田 傑	福澤 慎哉
				循環器科	澤木 章二	林 元則 樋口 智子	澤木 章二 小山 由志	門田 真	澤木 章二
				腎臓科		赤穂 伸二	赤穂 伸二		
				糖尿・内分泌科	中村 純子	関戸 貴志		大久保 洋輔	佐藤 吉彦
				呼吸器科	小沢 陽子				
				神経内科				小川 有香	
				血液内科	川上 徹				
	肝臓内科					市川 雪			
	午後		特殊外来 (予約のみ)		糖尿病外来 信大医師 (13:00~16:00)	小林 織絵 (呼吸器)	林 元則 (禁煙外来) (15:00~) 黒坂 真矢 (13:00~15:30)		
外科	午前	8:15~11:30	9:00	一般	三澤 俊一	依田 恭介 (11:00~) 桐井 靖 高木 洋行	依田 恭介 黒河内 顕 (11:00~)	高木 洋行 手術日	三澤 俊一 (11:00~) 黒河内 顕 高木 洋行
				特殊	乳腺外来 (高木 洋行)				
	午後	13:30~16:00	14:00	特殊		乳腺外来 (高木 洋行)			乳腺外来 (高木 洋行)
形成外科	午後	13:30~16:00	14:00	一般		信大医師			
整形外科	午前	8:15~11:00	9:00	一般	保坂 正人 松江 練造 清水 政幸	手術日	松江 練造 保坂 正人 竹山 和昭	松江 練造 清水 政幸 信大医師	杉本 良洋 清水 政幸 信大医師
	午後			予約のみ			杉本 良洋 (予約のみ)		保坂 正人 (予約のみ)
小児科	午前	8:15~11:30	9:00	一般	中田 節子 斎藤 孝昌	津野 隆久 斎藤 孝昌	中田 節子 津野 隆久	交替 中田 節子 津野 隆久 斎藤 孝昌	中田 節子 津野 隆久
	午後	13:30~ 16:00 予約のみ	14:00	特殊 (予約)	慢性疾患 (斎藤 孝昌) 慢性疾患 (岸川 ゆかり) (第4)7・8カ月検診	1ヶ月検診 乳児検診	予防接種	予防接種 (第1・2) 慢性疾患 (第3・第4) (岸川ゆかり)	慢性疾患 (中田 節子) 慢性疾患 (津野 隆久)
産科 (予約制)	午前	8:15~11:30	9:00	一般	横井 由里子	小原 美幸	塩沢 功	斉藤 慶弘	塩沢 功
	午後	13:00~15:00	13:30			小原 美幸			
婦人科 (予約制)	午前	8:15~11:30	9:00	一般	塩沢 功 市町村健診 (13:30~14:00)	斉藤 慶弘	横井 由里子	塩沢 功 (10:30~11:30)	
	午後	13:00~15:00	13:30			斉藤 慶弘			
脳神経外科	午前	8:15~11:30	9:00	一般		中村 雅彦	中村 雅彦		中村 雅彦 (受付11:00まで)
	午後	13:45~16:00	予約のみ			もの忘れ外来			
眼科	午前	8:15~11:00	9:00	一般	千葉 玲奈			信大医師	千葉 玲奈
耳鼻咽喉科	午後	13:30~16:00	14:00	一般		信大医師			信大医師
泌尿器科	午前	8:15~11:00	9:00	一般	石川 雅邦	石川 雅邦	飯塚 啓二	飯塚 啓二	石川 雅邦
	午後		予約のみ				手術		検査
皮膚科	午前	8:15~11:30	9:00	一般			信大医師		信大医師
	午後	13:30~16:00	14:00						